

EGS-M2・M2k・G2・タイプE ドアスイッチ検出方式への変更方法

■ボンネットスイッチを取り付ける場合

ボンネットスイッチ(別売)の取り付けを行うことにより、ボンネットが開いている時のリモコンでのエンジン始動が出来なくなり、エンジンルーム内での各種作業中の安全を確保出来ます。出来るだけボンネットスイッチの取り付けを行って下さい。取り付けに関しては、ボンネットスイッチに付属の取扱説明書をよくお読み下さい。

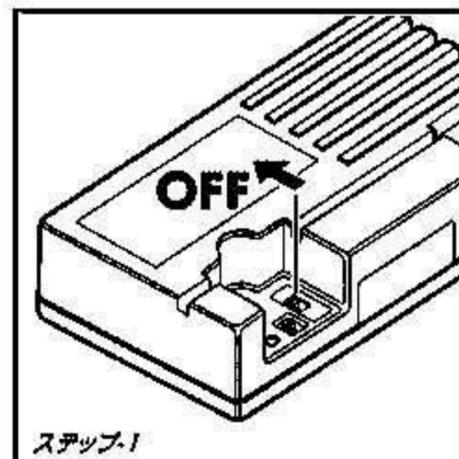
■運転席側ドアスイッチ配線を行う場合

ドアスイッチへの配線を行う事により、リモコンでのアイドリング中に、ドアを開けるとエンジンを停止させる事が出来ます。

ステップ1

本体のパワースイッチを切して下さい。

既に付属の安全センサーケーブルが本体に接続されている場合は、一旦外してから作業を行って下さい。



ステップ2

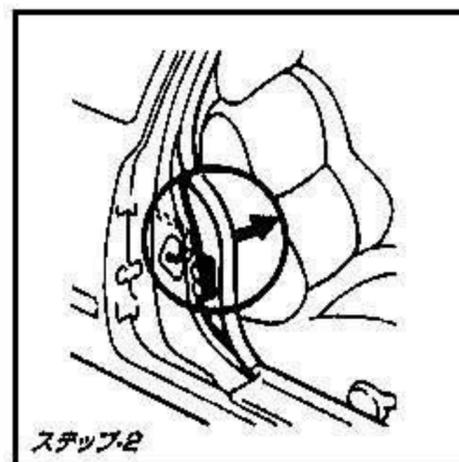
ドアスイッチ線を探します。

ドアを開けた時は0V、閉めた時に12Vとなる線です。(必ずテスターをご使用下さい)



メモ

半ドア警告灯および、ルームランプの点灯をさせる為のスイッチです。



ステップ3

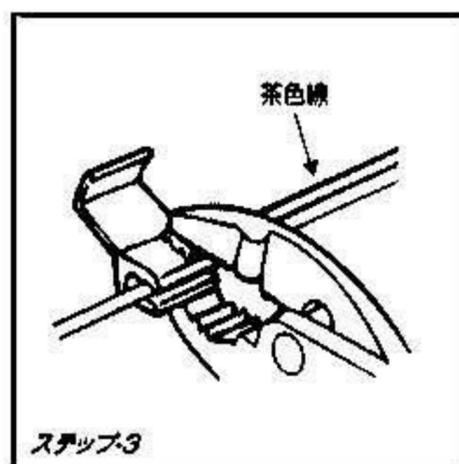
安全センサーケーブルの茶色線を接続します。

安全センサーケーブルの茶色線は、ボンネットスイッチと共用になっています。安全センサーケーブルの茶色線先端のギボシ端子部をニッパ等でカットし、ステップ2で見つけた線に、付属のエレクトロタップで接続します。



注意

接触不良が起きない様に確実に取り付けて下さい。ドアスイッチ検出がうまく行われない場合があります。



ステップ4

安全センサーケーブルを本体のコネクター部(CN2)に接続します。

OK!

以上でドアスイッチ配線は終了です。

パワースイッチをONにしてリモコンでエンジンを始動させ、ドアを開けた時にエンジンが停止する事を確認して下さい。

